

普及センター もりおか 11月

インターネットでオールカラーの記事が読めます！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりおか

検索

第 205 号 令和 4 年 10 月 25 日発行

盛岡農業改良普及センター

盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎

TEL019-629-6730 FAX 019-629-6739

普及センター R4活動紹介

経営指導課：シカ被害防止へ！被害対策現地検討会を開催しました。



中森技術主幹兼経営指導課長の説明を熱心に聞く参加者。



食害量把握のために前年設置したプロテクトケージは明らかに草高が高い。

盛岡農業改良普及センター（以下「盛岡普及」という。）は、令和4年6月7日、盛岡市玉山地域の牧草地において、シカ被害対策の現地検討会を開催しました。

飼料価格が高騰している現在、自給飼料の重要性が高まっています。一方、盛岡市玉山地域の牧草地ではシカの食害が深刻となっており、その対策が必要となっていました。そこで、盛岡普及では牧草地でのシカ被害防止に向け、令和4年度、国の「鳥獣被害防止総合対策交付金」を活用し、被害量の把握と省力的な管理が可能な電気柵の設置方法や、設置が必要となる期間を検討しています。

当日は、盛岡市、岩手大学の学生、県関係機関等 17 名が参加し、被害量把握の調査や電気柵の設置状況について興味津々に説明を聞いていました。岩手大学の学生からは、設置したセンサーカメラの動画をぜひ見てみたいとのリクエストもあり、シカ被害防止対策への関心の高さが伺えました。

盛岡普及では、今後も調査を継続し、効果的な防除方法を検討していきます。

産地育成課：「もち姫」を刈って、食べて、大満足！

去る7月2日、JAいわて中央本所南側小麦畑でもち性小麦「もち姫」の収穫祭が開催され、生産者、関係機関、盛岡地区に住む親子などが参加しました。

このイベントは、小麦の播種から収穫までの観察や作業体験を通じて「もち姫」への理解や消費拡大を図る目的で開催され、今年4回目となります。イベントの最後を締めくくる今回は、5家族が参加し、収穫や脱穀作業、もち姫を使用したワッフル作りを体験しました。コンバインに乗って写真撮影も行い、楽しみながら小麦の生産について学んでいました。

当日は天候にも恵まれ、子供たちは生産者の指導、補助のもと、元気に収穫作業を行っていました。また、もち姫を活用した商品展開を行っている白石食品工業(株)の採用内定者も参加し、収穫や製粉体験を通じて小麦への理解を深めていました。

生産者の方も、消費者との交流を通じて小麦生産への意欲を高めていたようです。



カメラを使って自分が育てた「もち姫」を収穫！



「もち姫」を使用したワッフル作り

地域指導課：農大生と盛岡地域農業関係者が懇談会を開催



8台のトンネル換気で風が通る鈴木氏の牛舎を見学。



「mi cafe」にて、松本氏から試食品の説明を受ける学生

盛岡農業改良普及センターでは毎年度、県立農業大学校の学生と地域農業関係者との懇談会を開催しています。本年度は、7月29日に3名の農大生を迎え、滝沢市と盛岡市を会場に2か所の現地研修と、管内市町・JAを交えた意見交換を行いました。

酪農と和牛繁殖経営の鈴木稔氏（県農業農村指導士）からは、最近の取り組みに加え、「今までの分析から目標を立て、その達成に向けた計画と戦略を持つことが大切」といった経営の姿勢をお話いただきました。農地に建つカフェ「mi cafe」の店主である松本直子氏からは、自家の二つの強み（おいしい農産物と畑からの素晴らしい眺望）を活かせるカフェ経営の夢を10年かけて実現したお話等を伺いました。関係機関からは、就農支援に係る事業や就農に役立つ資格等が紹介されました。

懇談会を通じて学生は刺激を受け、農業への興味が高まったようです。普及センターでは、今後も学生が農業に関わる仕事や地域の担い手として活躍していけるよう支援していきます。

地域指導課：「農業ってどんな感じ？」就農相談に対応

盛岡地方農業農村振興協議会（以下、農振協）では、就農希望者への支援活動の一つとして、「新・農業人フェア in いわて」に出展し、就農相談活動を行っています。

このフェアは、岩手県農業経営・就農支援センター（岩手県）が主催で、8月28日、日曜日にアイーナを会場に開催されたものです。

当日は、農振協ブースに6名の相談がありました。農業の現場に触れたことがない相談者からは、そもそも農業で生活できるのかという素朴な疑問から、短期農業体験への参加や農業法人への就職方法などについて、熱心な質問がありました。

また、今回は管内の盛岡市、滝沢市、雫石町の3つの農業委員会も出展しており、各ブースでは各市町の農業委員自らが、就農希望者の相談対応を行い、各市町の就農支援情報や農地借入の手順等を丁寧に説明していました。

今回の相談者の中には、就農のための農地取得方法についての相談もあったことから、本格的な就農準備の際には、普及センターでは各市町や各市町農業委員会等の関係機関と連携し、就農支援に取り組んでいきます。



各市町農業委員会ブースの相談対応の様子



当日の来場者は27名

【令和4年度 盛岡地域 農業女子ジャンプアップ講座 <第3回>】のご案内

農業に関する「学び」と「交流」を目的とした講座を開催しています。

今年度は、農業経営体の現地視察、農業機械管理講習など、全4回の構成です。

地域の農業を知り、農作業安全・農業経営について考えるきっかけづくりに、ぜひご参加ください。

- ◆主催：盛岡地方農業農村振興協議会、盛岡農業改良普及センター
- ◆日時：令和4年12月8日(木) 11:00~15:00
- ◆場所：盛岡市飯岡農業構造改善センター（盛岡市下飯岡8地割100）
- ◆内容：第3回テーマ「経営管理のイロハ」 講師 盛岡農業改良普及センター職員
(1)良い農業経営とは (2)経営管理の基礎 (3)消費税とインボイス制度
- ◆対象：若手女性農業者と家族（夫婦参加可）

【お申込み・お問い合わせ】

地域指導課（担当：藤原） ☎629-6727（直通）

